特別の教科 道徳 学習指導案

授業日時 令和3年7月5日(月)第4校時
授業学級 3年B組
授業会場 3年B組教室
授業者
指導者

1 主題名 「自分で考えて誠実に行動するとは」(3年) 資料名 「3年目の『ごめんね』」

内容項目 A- (1)・・・自律の精神を重んじ、自主的に考え、判断し、誠実に実行してその結果に責任をもつこと。

2 本時案

(1) 主眼

修学旅行が間近に迫ってきている子どもたちが、友達に対して誠実とは言えない行動をしてしまった「私」の心情を考える場面で、自分だったらどう行動したのかを考えて、みんなと意見を共有することを通して、これからの生活で自分が誠実に行動するために何が必要かを考えることができる。

(2) 指導上の留意点

- ・生徒の発言に対して否定的な返答はしない。肯定的に考えて生徒の意見を尊重する。
- ・中心発問である発問3に向けてキーワード(誠実)を意識させたうえでの授業を展開する。
- ・事前に「誠実」という言葉に対してどういうイメージを持っているのかアンケートを取り、その結果を授業の中で発表することで、生徒の授業参加の意欲を向上させられるようにする。

(3) 展開

過程	学習活動	予想される子どもの反応	「授業者の主な発問」 ※留意点	【教材】	時間
----	------	-------------	-----------------	------	----

<p style="text-align: center;">導 入</p>	<p>1. 「誠実」と聞いてどんなイメージを持っていたか、持っているか生徒に問いかける。</p>	<p>ア「バラ」 イ「アジサイ」 ウ「母の日だったらカーネーション」 エ「愛」 オ「わからないなあ。」 カ「そんな花言葉あるんだ。」 キ「前に考えたことがあるぞ。」 ク「どんなイメージだっけ。」 ケ「真面目」 コ「正直」 サ「素直にかんがえること」 シ「自分よりも相手のことを考えて行動すること」 ス「真心って難しいな。」</p>	<p>*教科書を準備させた状態から始める。</p> <p>カーネーションの花の写真を見せて、カーネーションの花言葉の中に、あらゆる試練に耐えた誠実という言葉があることを伝え、この中の誠実について今日は考えるという導入。</p> <p>ここで、事前に誠実という言葉の意味をどのように考えているか、誠実な行動とはどのようなものかをアンケートした結果をパワーポイントで発表する。</p> <p>※パソコン、プロジェクター 自分の考えだけでなく、他の人の考えも知ること、今日のテーマの「誠実」という言葉の意味を再確認できるようにする。</p> <p>「そうだね、誠実と聞くとすごくまじめでみんなに素直な人というイメージが浮かぶと思います。先生もみんなと同じようなイメージを持ってたんだけど、一回きちんとした意味を知りたいなと思って辞書で調べてきました。辞書の中では、『真心があって偽りがなくまじめなこと。本当であること。』と書いてありました。真剣に相手を思いやる心があつてうそをつかない人という意味になっています。誠実という言葉のイメージを忘れず、今から読む話を聞いてもらいたいです。」</p>	<p style="text-align: center;">7 分</p>
--	--	---	---	--

	<p>2. 資料「3年目のごめんね」を読む。</p>	<p>セ「修学旅行楽しみだなあ。」 ソ「どんな話だろう。」</p> <p>タ「私」 チ「伊藤さん」 ツ「美幸ちゃんと友達」 テ「担任の先生」</p>	<p>「それでは、教科書の32ページを開いてください。みんなもうすぐ修学旅行があると思うんだけど、今回の題材は修学旅行が関係しています。自分たちの修学旅行のことも考えながら聞いてください。今日は3年目のごめんね。」を読んでいきます」</p> <p>朗読した後に、今回の題材の登場人物の紹介をする。 「今回の話の登場人物をおさえます。誰が出てきた？」 「そうだね。私が主人公で伊藤さんを修学旅行で誘って美幸ちゃんとその友達がいる班で一緒に行動しようという事から始まっています。」</p>	5分
展 開	<p>補助発問① 「私」が伊藤さんを修学旅行の時に勇気を出して話しかけたのはなぜだろう？</p>			7分
	<p>3. 問①「私」がなぜ伊藤さんに勇気を出して話しかけたのかについて考える。 (個人→全体)</p>	<p>ト「一人ぼっちでいる人。」</p> <p>ナ「修学旅行で話しかけた。」</p> <p>ニ「修学旅行を楽しみたいから。」</p> <p>ヌ「一人でいることがかわいそうだと思ったから。」</p> <p>ネ「話しかけない自分が嫌だったから。」</p>	<p>「伊藤さんとはどんな人だったろう？」 伊藤さんがどんな人だったか、出てきた意見を黒板に書き込む。 「『私』は伊藤さんにどんなことをした？」 それをおさえたうえで、「『勇気を出して伊藤さんに話しかけてみた。』という事が書いてあるんだけど、どうして話しかけたんだろう？ワークシートに書いてみよう。ワークシートを配ります。」</p> <p>【ワークシート、机間指導】 *この時間は臨機応変に机間指導をして後ろに行って戻ってくる。 発表してもらおう。</p> <p>「そうだね、一人ぼっちの人がいるとみんなで楽しむ修学旅行が楽しめないからね。ほかの意見はあるかな？」</p> <p>「なるほど、かわいそうだと思って声をかけてあげることはいできない人も多いからすごくいいことだね。」</p> <p>「素晴らしい意見だね、自分に素直になって行動することは本当に大事だね。」</p>	

<p>補助発問② 「私」が伊藤さんを誘うのをやめたのはなぜだろう？</p>			8分
<p>4. 問②「私」がなぜ伊藤さんを誘うのをやめたのかについて考える。 (個人→全体)</p>	<p>ノ「続かなかった」 ハ「さっきとは反対の行動だなあ。」 ヒ「仲間外れにされるのが嫌だったから。」 フ「友達として考えた時に、みゆきちゃんたちとのほうが楽しい思い出があるから。」 へ「伊藤さんと話が弾まなかったから。」</p>	<p>「次にさっきは、『私』は伊藤さんに話しかけて誘ったんだけど誘う事は続いていきましたか？」 「そうだね、それには『私』に原因がありました。誘うのをやめてしまった理由とは何だろう？」 ワークシートになぜ伊藤さんを誘うのをやめてしまったのか書かせる。 【ワークシート、机間指導】 発表をしてもらおう。 「そうだよね、すごくわかる。前から仲が良かった友達だから、気にしていたのかもしれないね。」 「そうだね、さっきの意見でもあったけど、友達としてたくさんの思い出があるのはみゆきちゃんたちだからね。」 「どうしてそう思ったの？」 「そうだね、友達として話しやすいのは大事なことだね。」</p>	
<p>中心発問 自分が「私」と同じ状況だったらどうするだろう。</p>			13分
<p>5. 問③自分と「私」を重ね合わせて考える。 (個人→グループワーク→全体)</p>	<p>ホ「自分だったらかあ」 マ「どんな行動をする？」 ミ「私たちの班では、伊藤さんをそのまま誘い続けて、みゆきちゃんたちと仲良くなれるように頑張るとい意見と、自分も『私』と同じような行動を</p>	<p>「最後に今回の話で考えたこと、テーマの『誠実』という言葉をもう一回思い出して、自分だったら伊藤さんと話すのをやめるか、そのまま誘い続けるか、または別の方法をとるか、どうするだろう？まずは一人で考えてみてください。そのあとグループワークをします。」 【ワークシート、机間指導】 グループワークを始める。 グループワークをしているときに回って発表してもらう人を決めて事前に伝える。自分の意見を発表してもらい、そのあと班ではどんな意見が出たか聞く。 通常の席に戻してからみんなの前で発表してもらおう。 「そうだよね、そういう意見もあるね</p>	